

2月8日15時ころ、昨年12月から3回目になるアイスランドの 火山が噴火しました。

BBCニュースは、次のように伝えています。(一部のみ)



アイスランド首都レイキャビクのすぐ南のレイキャネス半島シリンガルフェル近くで、長さ約3kmと推定(すいてい)される亀裂(きれつ)に沿って溶岩がにじみ出ています。溶岩の噴煙は高さ約50mとも目撃(もくげき)されています。

https://www.bbc.com/news/av/world-europe-68237775

YACかわら版420「アイスランド 溶岩流出」は、昨年12月の噴火時をとりあげていました。今回の噴火の様子は、センチネル2のレイキャネス半島周辺観測で確認できます。②センチネル3も観測しています。⑤

また、「ズームアース」では噴煙が南南西の方向にのびている 様子が確認できます。6

①②の写真の様に、火山が噴火して溶岩が流れるのでなく、地面の亀裂した場所から溶岩が流れでいます。「割れ目噴火」といわれています。レイキャネス半島の「おや」「まあ」「フーン」を追ってみたいですね。



道路を溶岩が横切る

②

©volcanodiscovery.com

-peninsula/current-activity.html?t=1707384838

